Creative Enzymes®

ネイティブアスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼT1

Cat. No. NATE-0658

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アスペルギルス・オリゼ（Aspergillus oryzae）由来のリボヌクレアーゼT1（RNase T1）は、G残基の後で加水分解を行うエンドリボヌクレアーゼです。切断は、グアニジンリボヌクレオチドの3'-リン酸基と隣接するヌクレオチドの5'-ヒドロキシルの間で発生します。初期生成物は2':3'環状リン酸ヌクレオシドであり、□□する3'-ヌクレオシドリン酸に加水分解されます。これは、膵臓RNaseとは異なり、特にグアニン部位を攻□して3'-GMPおよび3'-GMP末端基を持つオリゴヌクレオチドを生成します。
用途	アスペルギルス・オリゼ（Aspergillus oryzae）由来のリボヌクレアーゼT1（RNase T1）は、配列決定前に□性RNAを消化するために使用され、タンパク質の折りたたみ研究にも利用されます。
別名	リボヌクレアーゼ T1; EC 3.1.27.3; グアニルリボヌクレアーゼ; アスペルギルス・オリゼリボヌクレアーゼ; RNase N1; RNase N2; リボヌクレアーゼ N3; リボヌクレアーゼ U1; リボヌクレアーゼ F1; リボヌクレアーゼ Ch; リボヌクレアーゼ PP1; リボヌクレアーゼ SA; RNase F1; リボヌクレアーゼ C2; ビナーゼ; RNase Sa; グアニル特異的 RNase; RNase G; RNase T1; リボヌクレアーゼ グアニンヌクレオチド-2'-トランスフェラーゼ (環化); リボヌクレアーゼ N3; リボヌクレアーゼ N1; 9026-12-4

製品情報

由来	アスペルギルス・オリゼー
形態	硫酸アンモニウム懸濁液；2.8 M (NH4)2SO4 溶液中の懸濁液
EC番号	EC 3.1.27.3
CAS登□番号	9026-12-4
活性	300,000-600,000 ユニット / mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、37°Cで15分間にΔA260が1.0に相当する酸溶解性オリゴヌクレオチドを1.0 mLの反□体積で生成します。基質：酵母RNA。

保管・発送情報

保存方法	−20°C